



「川崎駅前 優しい木のひろば」浜松市ブース出展について

本市では天竜材（FSC 認証材）の流通量拡大を目的として、「地産地消」と「地産外商」の2方向によりさまざまな施策に取り組んでいます。

特に、「地産外商」では、政令指定都市や東京都特別区などの大都市と連携し、天竜材（FSC 認証材）の普及啓発や利用拡大に取り組んでいるところです。

この度、川崎市（※1）で4回目の開催となる木材利用促進イベント「川崎駅前 優しい木のひろば」（※2）に下記のとおり本市のブースを出展することとなりましたので、お知らせいたします。

※1 川崎市との関係

川崎市は、首都圏における消費地である特徴と強みを活かし、国産木材の利用促進を図るため、有識者や公益団体、民間事業者、行政団体など、木材利用に関わる様々なサプライヤーのプラットフォームである「川崎市木材利用促進フォーラム」を平成27年10月設置（令和5年6月現在約120団体）。また、川上・川下の行政団体同士で情報共有を行う「行政部会」を同フォーラム内に令和2年11月設置（令和5年6月現在29団体）。

本市は、平成28年1月に当時の浜松市長が川崎市長とのトップ会談を行い、平成28年度から同フォーラムへオブザーバー参加しているほか、行政部会にも参加しており、川崎市との連携を深めている。

※2 「川崎駅前 優しい木のひろば」

国産木材の利用意義について理解を深めるとともに、国産木材を利用する機運を高めることを目指し、川崎に在住または勤務する市民に対して、五感を通じて木を知り木に親しむ機会を提供する、展示・体験等の木材利用促進イベント。

令和元年度に初めて開催され、今回で4回目の開催となる（令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止）。本市は、令和元年度から4回目の出展となる。

記

- 日時：令和5年11月19日（日）10:00～16:00
- 会場：ラゾーナ川崎プラザ（2F ルーファ広場、5F ラズーンテラス）
※浜松市ブースは、ラゾーナ川崎プラザ（ルーファ広場）内
- 主催：令和5年度 川崎駅前 優しい木のひろば実行委員会
- 内容：浜松市ブース：
天竜ヒノキのマイ箸づくりワークショップと天竜材家具等の展示
- その他：
 - 自治体としては、本市のほか、和歌山県、高知県、宮崎県、相模原市、静岡市、小田原市、益田市、延岡市が参加します。
 - 詳細は、別添チラシをご参照ください。
 - イベントの様子の写真データが必要な場合、11月20日（月）以降に林業振興課までお問い合わせください。

